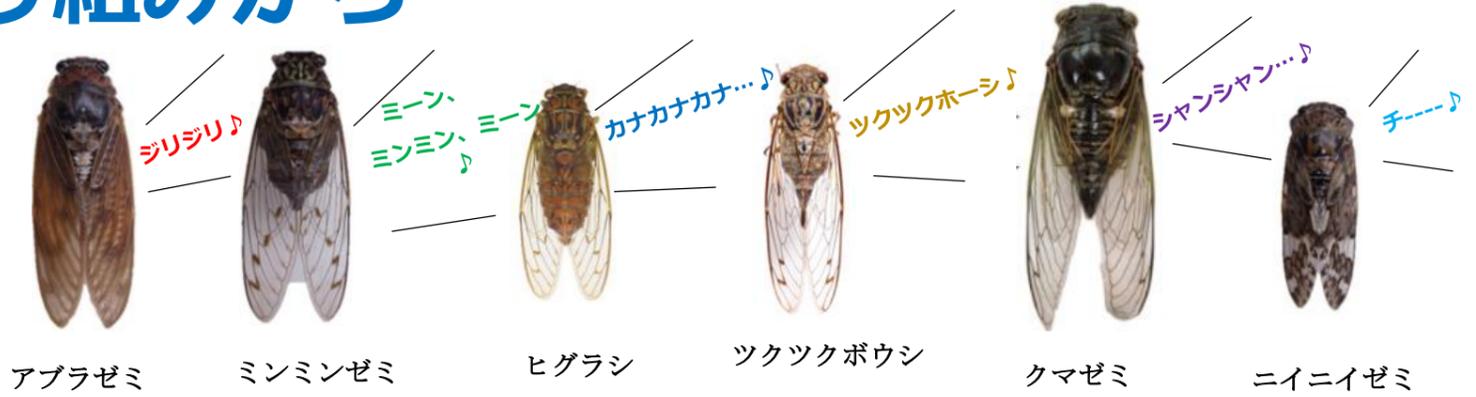


セミの鳴き声調査 2014～2018

5年間の取り組みから



※写真提供：飯田市美術博物館 大阪市立自然史博物館

調査期間は7月1日～10月15日の3か月半。

町田市内を102の区域（メッシュ）にわけて調査。サポーターは、自宅の周辺でセミの鳴き声を聞いたら、調査シートに○をつける。

市内のセミの確認状況

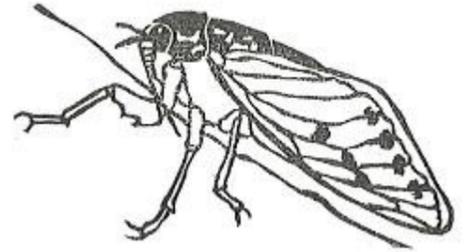
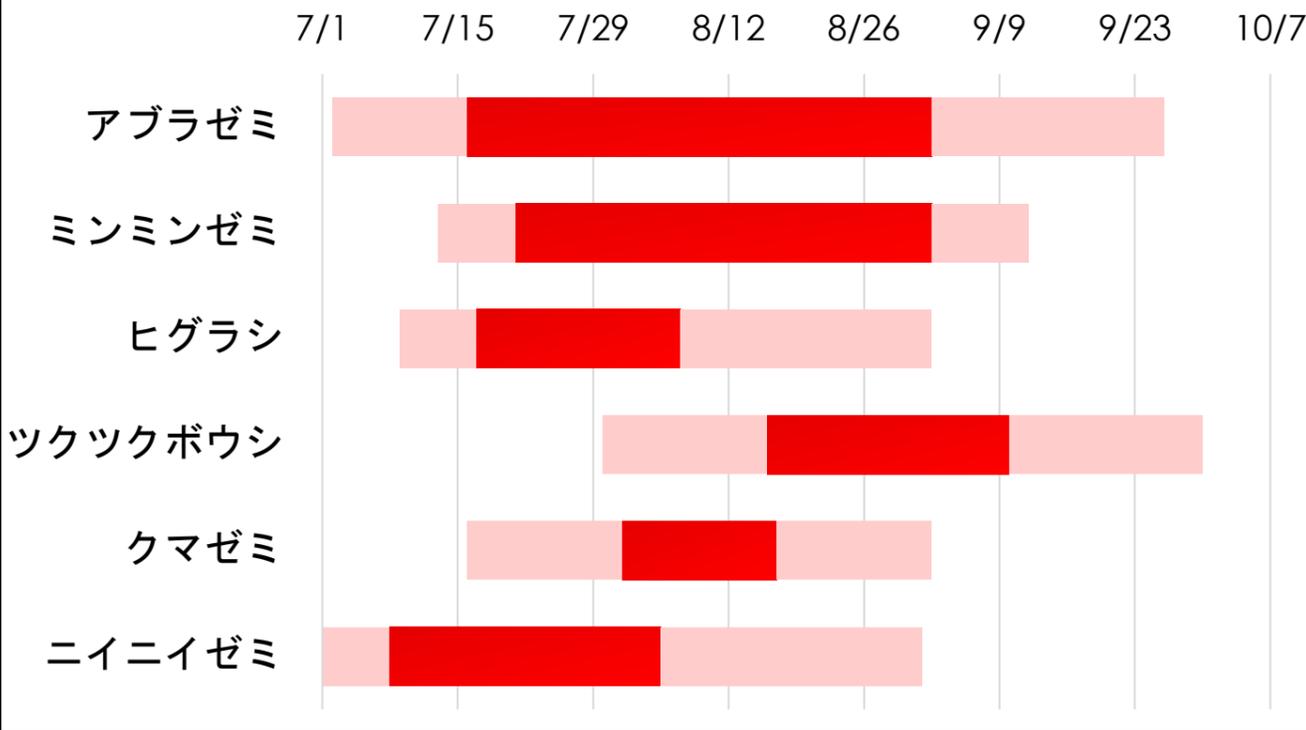
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
A		1	2				3													
B	4	5	6	7	8	9	10				11	12	13		14	15	16			
C			17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31			
D								32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42		
E									43	44	45	46	47	48	49	50	51	52		
F											53	54	55	56	57	58	59	60	61	
G											62	63	64	65	66	67	68	69	70	
H												71	72	73	74	75	76	77		
I												78	79	80	81	82	83			
J													84	85	86	87	88			
K															89	90	91	92		
L																93	94	95		
M																96	97	98		
N																	99	100		
O																		101	102	

5年連続調査したメッシュ = ■
 5年連続6種類のセミの鳴き声が
 確認できたメッシュ = ○

5年連続調査した53のメッシュのうち、30のメッシュで6種類のセミの声が5年連続確認されています。6種類のセミが市内全域に分布していると考えられ、都市化のすすむ中でも、6種のセミが住める環境があるということは評価できます。一方で、より自然度の高い場所に住むヒグラシやツクツクボウシの声が聞こえなくなったという声もあります。

2018年の調査結果より

6種類のセミの確認時期



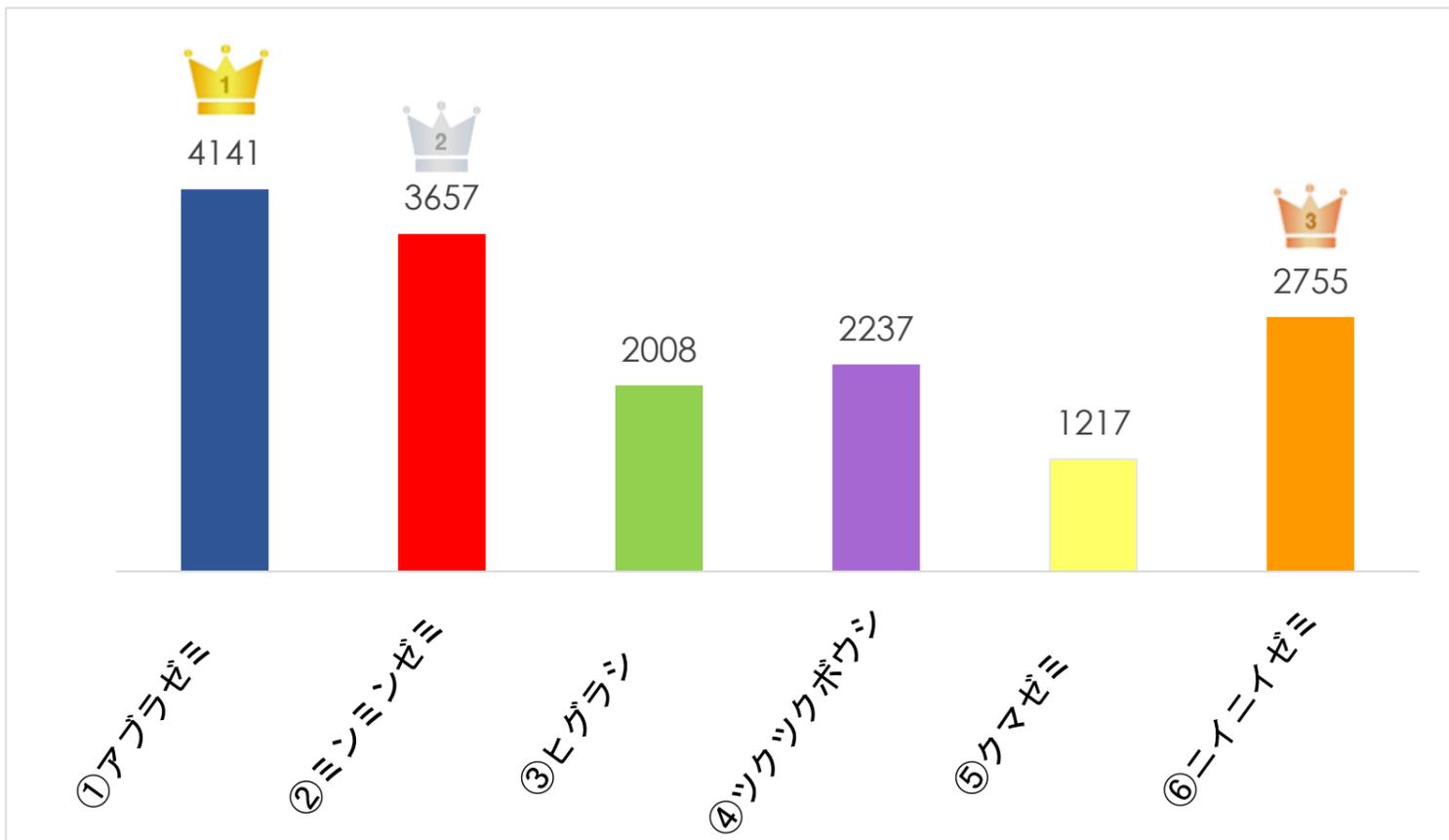
セミごとに鳴き声をもっとも多くのメッシュで確認された数をピークとしています。

＝ピークの4割の鳴き声

＝ピークの8割の鳴き声

町田市で6種類のセミの出る時期は、ニイニイゼミ、ヒグラシが早く、次にアブラゼミ、クマゼミ、ミンミンゼミ、最後にツクツクボウシの順です。

2018年の夏は記録的な猛暑のためか、アブラゼミの鳴き声の確認時期が例年よりも少し早まりました。



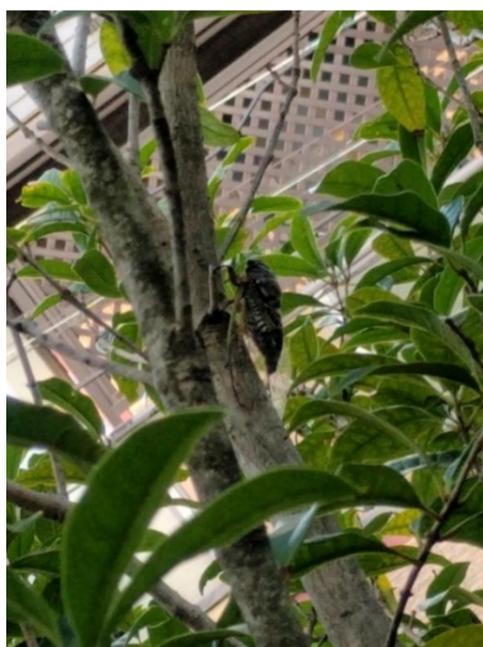
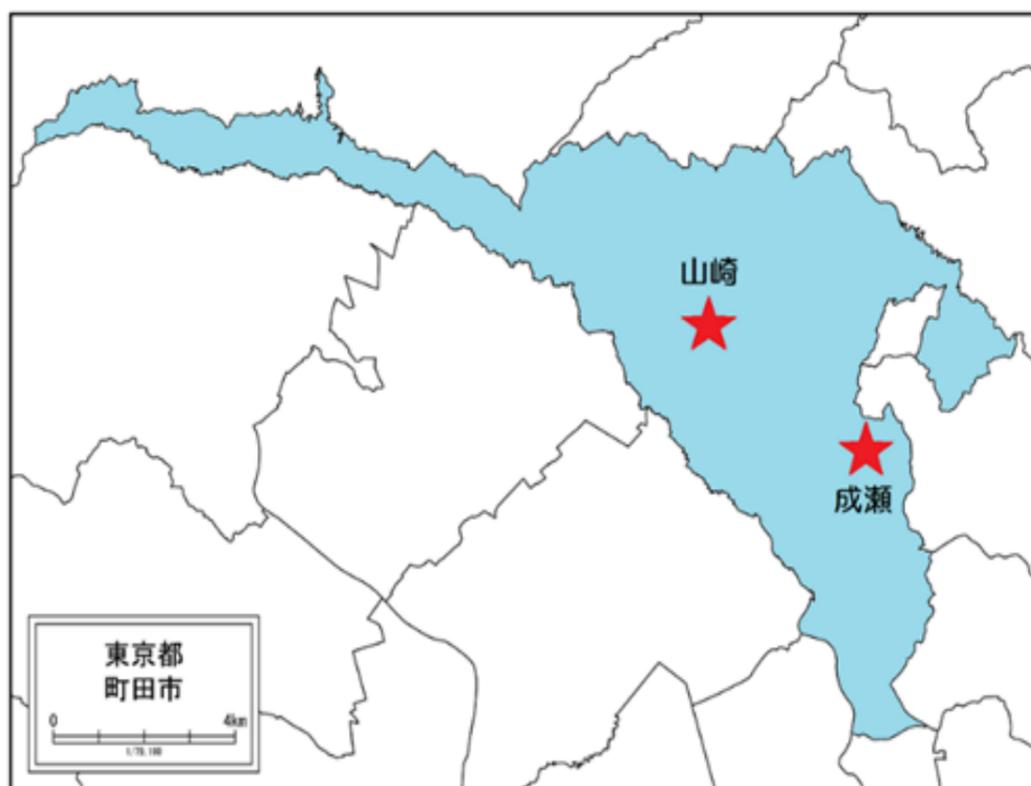
セミごとにひとつのメッシュで声が聞こえた日を1とし、その数を集計するとアブラゼミが最も多く、クマゼミがもっとも少ないという結果になりました。アブラゼミとクマゼミの聞こえた日数の差は2,924日です。鳴き声の多い上位3位の順位は2016年以降変動がありません。

(※ただし、鳴き声の確認日数＝セミの個体数ではありません)

町田のクマゼミ

クマゼミは、本来西日本を中心に分布しているセミですが、近年、関東地方の各地で鳴き声が確認されています。クマゼミの生息域が広がった主な理由は、植木や土砂と一緒に幼虫が運ばれてきたことと考えられています。

町田市でも 2014 年の調査開始時から鳴き声が確認されていました。その後、市民の皆さんからの情報提供により、この 5 年間で市内の「クマゼミ発生地」（クマゼミが生まれ育って定着している場所）が 2 か所明らかになりました。



町田市内で撮影した
クマゼミの成虫、幼虫、ぬけがら



ほかにも市内にクマゼミの発生地がある可能性があります。

情報をお持ちの方（成虫を見た、ぬけがらを確認したなど）はぜひ環境・自然共生課（042-724-4391）までご連絡をお願いします。

参加したサポーターからの声



毎日セミの観察とぬけがらの調査をして娘たちにとってよい経験になりました。資料を活用して自由研究として提出しました。学校でも好評だったようです。



最初は1種類だけ聞こえて、だんだんいろんな種類が増えて8月にはいろんなセミがたくさん鳴いていて、夏が終わると聞こえなくなっていくのが不思議でおもしろかった。

今自分が住んでいるところではめっきりセミが減った。地面がなくなってきているからだと思う。地面があること、それだけでいろんな生き物と出会えるのでは。



子どもが自然に親しむよい機会になりました。セミの声の聞き分けができるようになり、セミとりの名人になりました。夏の終わりに鳴くと思っていたヒグラシがそうではなかったなど発見もあり、親子での会話がとても豊かになりました。



毎年子どもと参加しています。その年その年でセミの種類と鳴き声の量が変わるので、興味深いです。

クマゼミの声がしたのにおどろいた。西の方のセミだと思っていたけど、東京にもいるのかとおどろいた。



我家の周囲も区画整理などにより、街並みはきれいになった反面、緑が少なくなっているように思えます。セミの羽化の場所もトラックの荷台、プランターやロープなど、こんな場所で羽化するとは・・・と驚かされることもあります。小さな生きものにもやさしい町田市になると良いですね。

